

意見番号	意見	意見提供者	見 解	備 考
1	<p>市民会議で部会を作って検討し、意見をまとめた場合に起こりがちなことですが、全体の整合性という点が欠けているのではないのでしょうか。</p>	<p>市内在住 成人女性</p>	<p>各章ごとの整合性、章中の組立項目での整合性、どの部分での整合性でのご指摘なのかが分かりませんが、第2章は特に“行政”が行うべき内容であり、加東市が今後必要とする内容を整理し、第3章においては市民・事業者が、行政も含めた中でのパートナーシップによる展開を必要と考えられる項目として整理していますので、他の計画等でよく見られる各内容を各章ごとにスライドさせて考察・詳細事項の検討行っているという構成を執っていませんので、そういった点では整合性が図れていないように思われたかも知れませんが、そうではありません。</p> <p>また、第3章での活動12項目におきましては、ご指摘のとおり重複する部分や分野の横断（本来の分野でないところに活動を置いている部分）もありますが、各部会で提案があったものは極力、その部分（部会）での検討項目として記載しています。</p> <p>環境への対応に関しましては色々な視点があり、地球・生活・自然のどの分野で考察すべきなのかは固定化したものではないと思っていますので、所属している部会の視点で、対応が必要と判断されたものをその部会で検討いただき活動プログラム化する方向で作成しています。</p>	
2	<p>『川は澄み、たくさんの魚が泳ぐ自然環境の中、四季折々の景色を楽しむ』という程度の表現であればいいと思いますが、『川は澄み、たくさんの魚が泳ぎ、ホタルが乱舞する自然環境の中、生物の生息空間が守られ、子どもが水遊びをしており、四季折々の景色を楽しむ』という、ここまでの表現になると、少し前時代的表現であるように思います。自然環境がよくなった象徴として使われているのですが、それにしても高齢者の郷愁に近い、未来の姿のようにも思え、自然や人間が10年後、こんな風に昔に回帰できるのかはきわめて疑わしいです。</p>	<p>市内在住 成人女性</p>	<p>現在の地球環境は、人間が手を加え改善を行わないと、悪化の一途をたどるという状態に突入していると言われていました。</p> <p>すなわち、地球上の生きもの全ての存在が脅かされる状態に陥っています。</p> <p>このような状態にしてしまった人間としては、環境改善に積極的に取り組むことは当然であり、その目標も高位にあるべきと考えます。</p>	